

**2025 年度 第 1 回 情報共有会 議事録**

1. 開催日時：2025年2月14日（金）16時40～17時30分

2. 開催場所：〒105-0004 東京都港区新橋1-18-1

航空会館ビジネスフォーラム会議室502号室 & オンライン会議

3. 出席者：正会員、賛助会員の出席状況は当日の会議資料参照

出席者正会員12社、賛助会員17社 計29社

4. 報告事項：

高島代表理事挨拶

会員継続、活動参画頂き誠にありがとうございます。我々の活動は剥離紙を資源化していくこと社会に伝えて行くことを理念にしている。重要なのは、動脈（生産⇒販売⇒使用）側の連携、静脈（使い終わった後工程）側の連携、動静脈連携、地域との連携が重要。遠隔地で回収してリサイクルするというのは非経済的で、環境負荷を与えてしまうので、できる限り排出されているところから近い場所、使用、リサイクルされるのが理想的なので、最終的にはそこを目指し今年一年も活動を進めたいのでよろしくお願い致します。

同業他社、またはそれに近い企業様にて活動しておりますので、コンプライアンスを遵守し活動に参画、ご協力をお願い致します。〈高島代表理事〉

＜2024年度事業報告並びに決算報告 高島代表理事より報告＞

- ・2024年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、監査報告を説明し、第二期総会にて可決・決定したことを報告。
- ・カケンセンター様による勉強会や工場見学実施。普段リサイクル現場を目にすることがなく知見が広がった。
- ・展示会では、会員企業様ブースにて取り組み事項を掲載頂くことでPR効果をあげられた。
- ・スムーズな情報提供を目的に、ホームページのリニューアルやプロモーション動画を作成した。

＜2025年度予算と事業計画 高島代表理事より報告＞

- ・2025年度収支予算、事業計画を報告。
- ・2024 年度同様会員期間は 4 月～3 月の 1 年間となり、会費：正会員 300 千円、賛助会員 100 千円  
※現会員様は現状のまま継続頂く前提下で 2 月末に会費納付の案内を入れさせていただきますので、4 月末までにご入金をお願いいたします。

・タイムラインについて

2025 年にはラベル循環確立を目標としたが、現時点においてはまだ剥離紙を当たり前資源循環する状態とはなっていない。理事メンバーにて改めて目標について検討するが、25 年度目標を志高くもっていきたい。確実に問い合わせは増えており拡がりを見せている。リサイクラーとの連携、リサイクラーリサイクル技術の支援（例えば剥離紙カラー統一等）やリサイクル状況の可視化、情報発信を通じて 2025 年度も継続し皆様と共に活動をすすめたい。

・新規事業について

ノベリティ作成：J-ECOL活動を知って頂くため再生パルプを用いた啓蒙ノベリティ作成を予定。

広告宣伝：協会の普及につながる取り組み企画を予定しており、アイデアございましたら事務局にご提案をお願いします。

Webサイト拡張：可視化目的にリサイクラーマップをWebに掲載、検索機能付与等を検討。

セミナー開催：資源循環のトピックスを中心に有識者セミナーを年3回（4月、8月、12月）開催予定。

## <リサイクルトレース実証実験 宇敷担当より報告>

- ・昨年 11 月～今年 1 月にかけて実証実験を実施し 10 社にご協力頂き計 12,790kg（7 社の排出量）の剥離紙を資源として活用することができた。
- ・日本製紙(株)様での取り組み状況  
TOPAN エッジ様、サンエー化研様に送って頂き 178.3kg の剥離紙を受け入れ 2 回に分けてペール化し 1 月末に製紙材料として使用した。  
現場意見として、Q Rコードの I Dが段ボール中に入っていたので、送り状のように段ボール外側のポケットにしてほしい。今後量が増えていくと当日処理することが難しくなるかもしれない。入荷出荷欄に未記入のものがあつた。古紙回収会社様から出荷された時点で払い出しの考えにできないか等の意見があつた。〈日本製紙/茶谷様〉  
⇒事務局側が想定していた事と若干乖離していたこともあり、これらの意見を次のステップに生かして行きたい。
- ・本実験では、Q Rコードをトリガーに情報入手したが、新たに設備投資することなく、スマートフォンを利用して実験できた。また、企業間をまたがるデータ取得できたことが一番の成果。足跡を残すことができることの確認ができた。
- ・一方で、クラウドメンテナンス中のアクセス不可、データ修正不可、ルートを自由に選択することができなかった等の課題があつた。加えてもっと多くの企業様や数量を回収できればよかった。
- ・今後は、位置情報、重量データを加えて精度向上、G H G 算定できる仕組みの構築、回収 B O X 等も視野に入れて回収効率を上げる等改善を進めていきたい。
- ・回収 B O X について  
月 10～20kg 程度の数量での回収要望もあるが、製紙会社様、古紙会社様からすると数量が少ないが、少量でも集めて資源化をするのが協会側の課題である。  
回収 B O X を検討していきたい。特定の場所に B O X をおき、例えば近隣のラベル使用企業様に持参してもらう、または、日々の営業活動で剥離紙を回収しもってかえってもらう等考えている。地域レベルでできる活動も考えている。今後そのような活動ができるようなイメージを視野にネクストステップに考えている。〈高島代表理事〉

## <年間スケジュール>

- ・25 年度の年間スケジュールについて共有（通常総会、情報共有会、勉強会、理事会）
- ・情報共有会は、24 年度対比 1 回減らし年 3 回、次回は 6 月 20 日予定。  
回数は少ないが取り組みは配信していき、その間勉強会を 3 回いれることとした。  
⇒現時点では事務局からの一方通行での発信となっているが、議題等あれば会員様から挙げて頂きたい。

## <質疑応答>

- ・日本紙パルプ商事/川上様よりご質問  
第 4 回情報共有会（昨年 12 月開催）の議事録をアップしてほしい。  
⇒高島代表理事様より回答「ホームページにアップ致します。」
- ・サトー/安倍様よりご質問  
現時点での個社のヒアリング状況について知りたい。  
⇒高島代表理事様より回答  
ヒアリングシート数としては 20 未満程度であるが、古紙会社様にて対応されている案件もあり実態がわからず今後の課題である。ただしヒアリングシート記載までには至っていない問い合わせ案件は数多くある。

## <最後>

引き続き有益な情報提供できるように運営をして参りますので今後もよろしくお願い致します。〈高島代表理事〉

以上